

2012年12月12日

“省エネ” “創エネ” “蓄エネ” への総合的な取り組み 「蓄電池」を新たに設置し電力を有効活用

～2012年度内に約100店舗での本格的な実証実験を開始～

株式会社セブン-イレブン・ジャパンは、再生エネルギーを有効活用した新たな取り組みとして、東京電力管内を中心とした約100店舗に新たに「蓄電池」を設置し、“蓄エネルギー”を中心とした総合的な電力活用の実証実験を、来年1月より順次開始^{※1}いたします。

エネルギーを取り巻く環境が大きく変化している中、セブン-イレブンでは、今夏、先行実施として千葉県松戸市や京都市等の6店舗^{※2}に「蓄電池」を試験的に設置。使用する電力の需給コントロールを一店舗トータルで行い、エネルギー管理について検証を続けてまいりました。これまで、各店舗の電力使用量削減を目的に、スマートセンサー^{※3}の導入や店内照明や看板照明のLED化^{※4}による“省エネ”、太陽光パネルの設置^{※5}を通じた“創エネ”を中心にエネルギー対策を図ってまいりました。今回新たに、再生した電力を蓄える「蓄電池」を導入することで“蓄エネ”として蓄えた電力をピーク時に放電し、電力需要の少ない夜間電力を活用することが可能になります。また、これらによって、店舗全体のエネルギーを効率的に管理し、10%以上の電力料金の削減を見込んでおります。太陽光パネルにおいては、2013年2月までに約7,000店へ設置。設置総面積は東京ドーム10個以上となり、トータルとして、一般家庭22,000世帯分の発電量、二酸化炭素の削減効果は年間25,000tの規模となります。これらを、“セブン発電プロジェクト”と位置付け、発電所並みの電力を生み出そうという計画に取り組んでまいります。

加えて、蓄電した電力は売電ではなく、店内消費として活用することで、店舗の消費電力の抑制のみならず、緊急時の店舗の営業継続や同一エリア内への電力供給に寄与し、「近くて便利」な店舗として地域の方の生活をサポートできる等、インフラ機能としての役割も果たしてまいります。

セブン-イレブン・ジャパンでは、エネルギー問題に対して、これからも“省エネ” “創エネ” “蓄エネ”による総合的な節電に積極的に取り組むことで、総電力使用量の削減とともに、環境にやさしい店舗づくりに取り組んでまいります。

※1 東京電力管内の店舗より開始予定

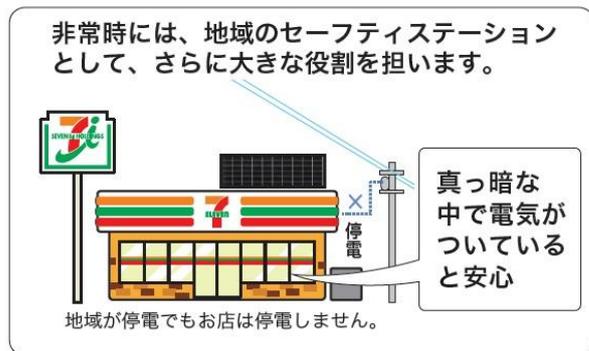
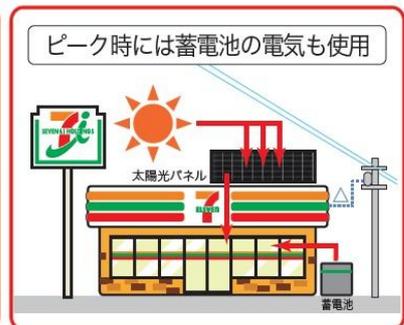
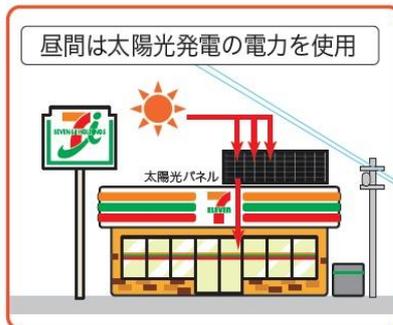
※2 京都府京都市2店、千葉県松戸市1店、愛知県江南市1店、宮城県岩沼市1店、広島県広島市1店

※3 スマートセンサー：設置することで電力の見える化が可能。ほぼ全店に設置済

※4 店内や看板照明のLED化：全国約11,000店で設置済

※5 太陽光パネル：2012年度内に全国約7,000店へ設置予定

《セブン発電プロジェクトの仕組み・メリット》



以上

セブン-イレブンホームページはこちら

<http://www.sej.co.jp/>